



# コロナ禍において(Vol.3)

北海校校友会第十代会長

金井重雄

〈高校26期〉



**更なる前進を目指して**

校長 秋山秀司

〈高校35期〉



HOKKAIism

〈令和4年度〉2022年11月30日

拝啓 晩秋の候 校友の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より校友会活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年で3年目となる新型コロナウイルス感染拡大の影響で、みなしくもコロナ禍において命を亡くされた方々のご冥福をお祈りし、罹患された方には心よりお見舞い申し上げます。

校友会活動におきましては各行事が中止を余儀なくされて参りました。校友会入会式もその一つです。秋山校長はじめ各卒業生担任の先生方々には、3年に渡り、我々に代わって入会歓迎の意を伝えて頂き大変お手数をお掛け致しました。心より御礼と感謝を申し上げます。

ご報告となりますが、校友会入会者は、遅く72期生(442名)、73期生(521名)、そして今年74期生(390名)、これで卒業生総数が41,826名となりました。さて、執行部は新年度を迎えておりますが、昨年に続きコロナ禍の影響で役員改選が延期となり、令和5年3月3日まで会長を含む役員の任期延期を頂いております。その中、会場(ホテル)側と感染予防対策について入念に打ち合わせをし、今年第1回目の代表幹事会を6月21日に開催することが出来ました。令和元年5月13日以来2年ぶりでした。

- 健全な運営・維持(会費等のあり方)
  - 実績: 入会金及び終身会費は母校の卒業時に納入して頂き運営協力金及び寄付金は毎年会員の方々の善意を尊重し広くご協力をお願いする事と致しました。
  - 会員の確立(同期会および各支部の活性化)
    - 実績: 新支部の設置・東北支部・オホーツク支部・後志支部・小樽支部(再活動)各支部の総会・懇親会などに積極的に出席し、本部の意向を伝えコミュニケーションを図り支部活性化の為に意見交換をする。
  - 校友会組織の拡大
    - (運動部・文化部・OB・OGの部会)
      - ※(仮称)北海歴史記念館の建設(長期計画)

【我心】  
獅子となり 虎となりても 北海の  
益荒男ぶりも 星のまにまに



## 〈校友会発展に向けた会長としての方針〉

### 始まりかけ(北海の空光明天のあとずれよ)

先ずは、令和3年度の活動経過・決算報告、令和4年度の活動計画・予算案、そして役員人事についての議案審議の上、すべて承認を頂きました。また、執行部の働き掛けもあり、17・23・26・31・33・44・47・52・55・68期の新代表幹事の方々にも出席して頂きました。この代表幹事会開催は大きな意味を持つものと思っております。

現在も校友会執行部は様々な面から母校北海を支えらえるよう組織づくりを頑張っておりますが、まだだ達成できておりません。多くの会員の方々のご協力を頂きました。校友会は、全卒業生と同期会・各支部の集合体で成り立っております。どうか積極的な参加を切にお願い申上げ、そしていつか創立開校記念を祝う校友の集いに結びとしますが、校友会の皆様にはどうぞご自愛下さい。やはり多き日々となりますようご祈念申し上げます。

は、千人を超える規模となりますことを希望と致します。W-it-hコロナが継続する中、いまだに何かと不便の多い日が続いておりますが、我々執行部は気持ちを引き締め、各専門部会が協力し、改めて校友会発展のために躍進して参る所存です。どうぞ今まで以上のご理解とご協力を頂ければとお願い致します。

は、柔道、陸上競技、男子バドミントン、女子テニスが出場し、文化部では写真部が全

校の意識を強くして研鑽に励んでいるところです。また、徒自らが探究心を持って学習活動、諸活動に取り組めます。学びの質を向上させ生徒代表幹事会に1名でも出席し、同期の皆さんに校友会の活動意義を広く伝えて頂きたいと思います。

は、柔道、陸上競技、男子バドミントン、女子テニスが出場し、文化部では写真部が全

校の意識を強くして研鑽に励んでいるところです。また、徒自らが探究心を持って学習活動、諸活動に取り組めます。学びの質を向上させ生徒代表幹事会に1名でも出席し、同期の皆さんに校友会の活動意義を広く伝えて頂きたいと思います。

は、柔道、陸上競技、男子バドミントン、女子テニスが出場し、文化部では写真部が全

校の意識を強くして研鑽に

校友の皆様には日頃からさまざまな形で北海高校を支えていただき、心より感謝申上げます。一方、部活動についても、約70%の生徒が部活動に所属し、数多くのクラブが全道・全国レベルで活躍してくれています。今年のインターハイでは、柔道、陸上競技、男子バドミントン、女子テニスが出場し、文化部では写真部が全校の意識を強くして研鑽に励んでいるところです。また、北海学園大学との連携はもちろん、成城大学とも特色ある高大連携事業を進めており、本校が大事にしている「生き方としての進路指導」、生徒の「学習意欲の向上」に役立たせています。

今年度は、昨年まで自肃せざるを得なかつた学校祭、体育祭、弁論大会、全校応援など、予定しておりますが、校行事を実施することができます。学校行事は、本校の教育目標を達成するためには欠かすことのできない大切な教育活動です。本校は、生徒同士がそれぞれの個性を認め合い、支え合い励まし合いました。この結果、北海校校友会の益々の発展と、校友諸氏のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

北海高校はこれからも、人間教育をベースに明るく活動的であります。校内の皆様にはこれまで以上に北海生の頑張りに対しご支援を賜りますようお願い申上げます。未筆になりますが、北海校校友会の益々の発展と、校友諸氏のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

**第66回 全道高校弁論大会**  
(道高文連主催)

テーマ課題「生まれる」

**最優秀賞に輝く**

弁論部 中越杏奈さん(2年)

HOKKAIの精神は、何年たっても変わらない。

# 篤実剛健 百折不撓

目指す夢がある、つながる伝統がある。



## 夏季インターハイがやってくる!

全国各地の予選を勝ち抜いた強豪校が集う高校生最大のスポーツ大会



大会愛称 翔び立て若き翼 北海道総体 2023

大会スローガン 韶かせる魄の鼓動北の大地へ大空へ

令和5年度 2023年7月22日～8月21日

全国高等学校総合体育大会

〈総合開会式／北海きたえ～る予定〉

36年ぶり  
北海道開催 地元強豪校とて迎え撃つ!  
3年間の集大成!



高体連マーク  
3つのKは  
ドイツ語の頭文字

- KRAFT(クラフト)…力
- KUNST(クンスト)…技
- KLARHEIT(クラールハイト)…明朗な精神  
を表す



### 開催競技

28競技  
(32種目)

陸上競技、体操(体操競技・新体操)、水泳(競泳・飛込・水球)、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、ハンドボール、サッカー、バドミントン、ソフトボール、相撲、柔道、ボート、剣道、レスリング、弓道、テニス、登山、自転車競技(トラック・ロード)、ボクシング、ホッケー、ウエイトリフティング、フェンシング、空手道、アーチェリー、なぎなた、カヌー、少林寺拳法道内19ヶ所市町開催(赤字は北海高参加競技)

がんばれ北海!  
目標は全国制覇!  
心はひとつ!

※競技日程・開催地等、詳しくは「教育庁高校総体推進課」ホームページでご確認ください。※スローガン・シンボルマーク使用は、「全国高等学校総合体育大会北海道実行委員会」の承認を得て掲載しています。





# 關高魂

北海高等学校バスケットボール部  
贈元八年七月二十八日 金田明生

## 男子バスケットボール部

●部員数/37名  
「全国大会出場」「北海時代を創る」人間力・戦績両方の面から北海道と言えば北海高校と言われるようなチームを目指しています。



## 女子バスケットボール部

●1999年(平成11年)創部 ●部員数/40名  
「札幌支部5位、全道大会ベスト8」チーム全員が全力を尽くし、全道大会ベスト8を目指して頑張ります。応援よろしくお願いいたします。



## インタークトボランティア部

●1971年(昭和46年)創部 ●部員数/25名  
4つの行動目標である「笑顔」「挨拶」「他者への思いやり」「感謝の気持ち」を大切に、各種ボランティア活動や関連学習に励んでいます。



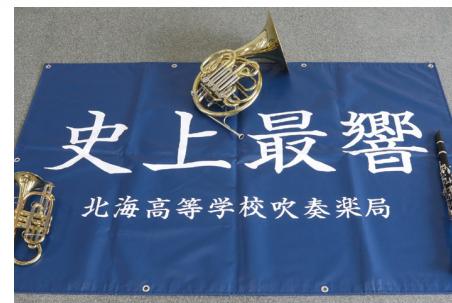
## サッカー部

●1923年(大正12年)創部 ●部員数/75名  
『選手権全国勝利～全国レベルの強さ・速さ・巧さをもとめて～』サッカー部は次年度で創部100周年を迎えます。この100年間の歴史と伝統を築いたOB・関係者の方々に『勝利』をもって恩返しできるように頑張ります。



# 伝統と誇りを掲げ燐然と輝く! 北海魂

傷み、色褪せても、受け継がれる願い。



## 文芸部

●1922年(大正11年)創部 ●部員数/9名  
「小説」、「評論・随筆」、「詩」、「短歌」、「俳句」、「部誌」の各部門において、全道大会で上位の成績を収め、全国大会に出場することが目標です。



## 柔道部

●1905年(明治38年)創部 ●部員数/39名  
島谷五郎先生、石川勝一郎先生、齊藤文雄先生、からの伝統を引き継ぎ、日本一を目指します。



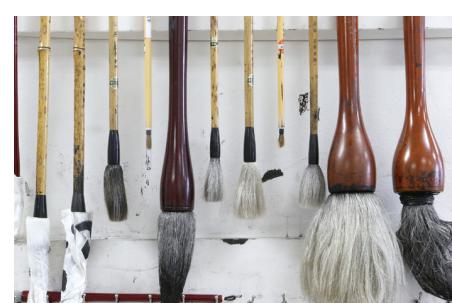
## 写真部

●部員数/24名  
今年度は、全国総文祭で優秀賞・朝日新聞社賞を受賞した。部員同士や被写体とのコミュニケーションを大切にして、写真技術の向上に努めている。



## 卓球部

●1924年(大正13年)創部 ●部員数/9名  
学校対抗戦全道ベスト4以上を維持した上で、学校対抗戦・個人戦での全国大会出場を目標に活動しています。



## 書道部

●1935年(昭和10年)創部 ●部員数/10名  
・自らと対峙し、じっくり悩み考えながら制作に励む。  
・各種書道展で高い評価を受ける作品を目指す。



## 弓道部

●1911年(明治44年)創部 ●部員数/50名  
己の心としっかり向き合い、日常生活も高い意識を持って行動し、誰からも信頼される弓道人を目指す。『正射必中』



## 美術部

●1914年(大正3年)創部 ●部員数/19名  
自己表現の充実と多くのコンクールで入賞する。クラブで大切にしているもの…どんぐり会展の100回展記念誌



## 新体操部

●2003年(平成15年)創部 ●部員数/10名  
平成11年、通称「しんとも」として同好会からスタート。平成15年から部に昇格し、「北海高校から全国・全道に発信しよう」をスローガンに「全国出場」「全国入賞」が目標になりました。



## 女子バドミントン部

●1999年(平成11年)創部 ●部員数/28名  
昨年度は高体連・新人戦共に団体戦で全道ベスト4という目標を達成することができた。現在は全国大会出場を目指して練習に励んでいる。



# 必★勝

北海高等学校剣道部

## 剣道部

●1908年(明治41年)創部 ●部員数/10名  
新型コロナウイルスがなかなか収束せず、マスクを着けている稽古が続いているが、師弟共に日々集中した稽古を行っています。部員構成は、男子は二年生2名、一年生5名、女子は一年生3名のみと例年ない若いチームです。そのためまだ力がなく、今年度のインターハイでは団体においては男女共に支部大会で敗れ、全道大会に駒を進めることができませんでした。しかしながら、個人戦で男子一年生(及川遙人)が支部大会で三位となり、全道大会に出場しました。(全道大会ではもやもやの一回戦敗退でした。)まだまだ力不足と反省し、夏は九州に遠征し、帰札後は学校にて午前・午後の強化稽古を行いました。強化稽古では七十五歳のOBをはじめ大学生まで多数の卒業生が防具や差し入れを担いでご来道くださいり、現役生徒達のために稽古及び指導をくださいました。今後の目標は一月に行われる新人戦全道大会で優勝し、全国大会の切符を掴むことと令和五年度のインターハイ全国大会に出場することです。諸先輩方から頂きました稽古を無駄にせず、一層日々研究工夫を重ねて稽古に励み、目標を達成させたいと思います。応援よろしくお願い申し上げます。



## 生徒会

●部員数/10名  
北海祭や選手激励会などの企画・運営、生徒からの意見について先生方と意見交換を行うなど、生徒と学校をつなげる重要な役割を丁寧に担い続けます。



## 陸上競技部

●1920年(大正9年)創部 ●部員数/71名  
近年、全国大会へ連続出場し、今年度は2名が全国大会でも入賞することができました。次は全国大会3位以内を目標に、日々練習に励みます。



## 新聞局

●1948年(昭和23年)創部 ●部員数/14名  
北海高校の「今」を伝え、記録することが責務。入賞が目標ではありませんが、認められる新聞作りを目指したいです。



## アイスホッケー部

●1923年(大正12年)創部 ●部員数/22名  
今年度のチームスローガンは「Giant Killing」です。強豪校を組織力で打破したいと日々練習に励んでいます。



## 硬式野球部

●1901年(明治34年)創部 ●部員数/71名  
甲子園を目指すことはもちろんですが、高校生として勉学に励むこと、人間性の向上に努めることを念頭に置き、進路目標の達成を最終目標として、社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

# 北★海

北海高等学校排球部

## 男子バレー部

●部員数/23名  
「全道大会ベスト4」を目指して、日々の練習に取り組んでいます。地区予選でのベスト4は入ることはありますが、勝負がかった大会では入ったことがないので、結果が残せるように頑張ります。



## 国際交流部

●部員数/16名  
姉妹校の交換留学生との交流や高文連英語弁論大会へ向け、また英検の合格を目指し、英語を使った活動を通して4技能の向上を目指し、お互い切磋琢磨しています。



## 女子バレー部

●1999年(平成11年)創部 ●部員数/27名  
全道大会出場を目標に日々練習に励んでいます。心と体を鍛え人間性を磨くこと、感謝の心を忘れずに応援される選手になることを目指しています。



## 弁論部

●1905年(明治38年)創部 ●部員数/7名  
高校生をはじめとした聴衆に対し、感銘を与える弁論ができるように努力する。



## 放送局

●1963年(昭和38年)創部 ●部員数/9名  
放送局では朝昼の校内放送や学校行事での補佐を中心活動しています。学校を支える裏方として精一杯頑張っていきます。



## 男子テニス部

●1974年(昭和49年)創部 ●部員数/13名  
団体戦での全道出場を最低限の目標とし、顧問・生徒一丸となって厳しい練習に取り組んでいます。



## 将棋部

●部員数/5名  
現在、2年生男子4名、1年生男子1名の5名で活動している。活動日は放課後、週2回程度である。活動内容は練習対局と将棋ソフトを用いた研究、さらに書籍による戦法や定跡、手筋などの研究をしている。今年度の成績は、春季地区大会、全道大会ともに予選敗退した。



## 女子テニス部

●2000年(平成12年)創部 ●部員数/14名  
お互いに切磋琢磨しチーム力を高め、団体戦全道3位以内を目指しています。



私たちは接戦を勝ち抜く力を持つため、『守備からリズムをつくる野球』をモットーとして、「基本の習得」に重点を置き、日々の練習に取り組んでいます。

堅実かつ正確な守備で失点を抑えること、そして、状況に応じた打撃と走塁で目の前の

1点を確実に得ることが、厳しいトーナメントを戦い抜く原点だと考えます。

私たちが目指す野球を部員全員で徹底し、激戦の北海道大会を勝ち抜くことができるよう、そして、全国レベルの実力を養うべく努力します。



HOKKAI ism

&lt;令和4年度&gt;2022年11月30日

昨年度入試における大学合格実績で特記すべきことは、国公立大学進学である。合格者数は国公立大54名現役のみであり、2年連続で50名を超えることとなった。樽商大12名も2年連続であるが、北大現役11名(十浪人1名)と合格者が10名を超えるのは実に5年ぶり。また、進学コースからも北大をはじめとする道内国公立大に一般受験で合格、浪人生で東工大などに合格他、自覚ましい実績を残すこととなった。

各コースの傾向は、Sクラスは22名中15名が、特進クラスの三分の一強が国公立大に合格。それ以外の生徒は、進学コースと同様に、一般型・学校推薦型・総合型のさまざまな入試方式で道内外私大に進学している。浪人生を含めれば、早稲田、慶應、上智、東京理科、青学、明治、立教、中央、法政、同志社、立命館などの難関私大にも例年通り合格者を輩出した。

ここ数年、北海に入學していく生徒の学力層が高くなっていることを強く感じている。昨年度と比べて、在籍人数は減るもの、コロナ禍において通常授業が減った中で、これまでの実績をのこしてくれたのは本人達の努力の成果である。勿論、それだけでなく、講習や小論文・面接指導他、担任・教科担当などの授業時間外でのフォローアップによるところも大きい。合格力が向上するには、生徒の学習意欲に教員のノウハウやナレッジがどれだけ効果的にマッチするかが鍵である。

生徒の自己実現をサポートできるように、進路指導部としては今後も進路・学習指導していく所存である。

渡邊 雅利  
進路指導部長

## 2022年度 入試を振り返って

### 令和3年度(2022年) 大学入試合格状況

#### 国公立大学

**東京工業大学 1名 北海道大学 12名**

**小樽商科大学 12名・室蘭工業大学 3名・**

**北海道教育大学 6名・札幌市立大学 2名・**

**弘前大学・岩手大学・東京学芸大学・高知大学・**

**神戸市立外国語大学・防衛大学校・**

**電気通信大学・岐阜大学・都留文化大学 他**

国公立大学  
合計 **62名**

現役生 難関大学  
多數突破!

#### 私立大学

**早稲田大学・慶應大学・上智大学・東京理科大学・明治大学・**

**青山学院大学・立教大学・中央大学・法政大学・成城大学・**

**成蹊大学・東京農業大学・**

**同志社大学・北海学園大学 他**

私立大学  
合計 道外 **103名** 道内 **268名**

#### 新任挨拶

##### 森川 浩輔



4月に、北海高校に勤務させて頂くことになりました、森川浩輔です。私が高校生の時から、北海高校は有名な高校で、伝統ある雰囲気のよい学校だという印象を持っていました。実際に、この約半年働いてみて、生徒や教員の方々の雰囲気も良く、よい環境だと感じております。ただ、まだ私自身経験が浅いことから、失敗することも多いので、一つ一つ、一人一人大切にして、成長していきたいと思います。

私は、これまで部活動で上手くいかなかったり、大学受験に失敗したりと、すぐによい結果が得られたことはありませんでした。ただ、それを乗り越えるために、別の競技をしたり、大学受験の時は授業で学んだことのない科目も含め、自宅で一人で一年間勉強したりなど、多くの挑戦をしてきました。私の専門は、国語と英語であるため、言葉を大切にし、これまでの経験を生かし、また日々学び実践を繰り返し、よりよい教育をしていきたいと思います。

##### 濱波 裕介



今年度より芸術科(書道)の教員として着任いたしました濱波裕介と申します。

昨年までは北海道内の高校で11年間勤めておりました。田舎町にある私立高校でしたが、生徒と保護者と関わりながら教員として成長させていただきました。前任校でも書道部顧問をしており、その当時から北海高校の生徒と関わる機会がありました。元気の良い挨拶ができる、物事をしっかり考えることができます、なんて素晴らしい生徒なのだろうと感じてきました。ですから、今こうして北海高校で務めることができて、とても嬉しく思っております。

4月より、書道部の顧問、1年生の進学コースの担任もさせていただいていることもあり、生徒と関わる機会が多くあります。生徒は1年生、私も1年目ということで、北海高校の初めての1年を過ごしております。生徒と共に伝統ある北海高校に馴染めるように過ごしたいと思っております。また、希望に満ちエネルギーに溢れた生徒達の夢の実現に向けて、これから力の限り努力していきたいと考えています。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

# 同期会活動報告

## 親友との再会

令和3年10月、妹の個展「ZEROの誕生」を観ていただきたく案内したところ、東京から北海高校の親友、黒坂光喜君が個展を観に来ました。妹も黒坂君を知っており、家に遊びに来ることもあり懐かしく話しました。

私は高校時代の話になりました。私は高校の写真を持参したので修学旅行や釣りに行なったことなど又、私と黒坂君と柴田一彦君との三羽鳥で友達関係が続いたことなど話しました。

柴田君は、黒坂君と同じ町にいて「時々会っている」と言い私も会いたい思いでした。実は、卒業式のときに何の前触れもなく、優等生の授与の時、急に私の名前が呼ばれ驚いた話をしたら、黒坂君も同じであることを

北海高校での思いでは高校3年のとき弁論部員が居なくなることを知り急に弁論することになりました。人前で話すことの苦手な私は勇気がいました、練習を重ねてどうにか人前で話すことができました。各学校大会に参加させても

その時に、当時、矯正協会会長の正木亮氏の「志願因」を読み正木亮教授の教えを受けたく神奈川大学に入学して「刑事政策」や「青少年問題」の勉強をして、少年院の実習や教護院(現在児童自立支援施設)の実習や卒業論文等で知識を得ることになり北海道の社会福祉職に合格できました。児童相談所で長時間児童福祉司等で非行問題や不登校の仕事ができました。

私の人生は、この弁論部で変わりました。北海道B・S運動(非行少年の友達活動で少年の良き兄・姉となりして友達になって活動する



## 本藤司先生を偲んで

令和3年11月9日76歳にて、ご逝去されました。

彼と私は高校16期生として3年間同じクラスでした。波田、佐藤寛、松竹谷先生が担任であります。

彼はスキー部に入りましたが当時は強豪校であり、一年先輩には札幌五輪

ジャンプ銀メダルの今野昭次氏、同級生の奥芝外雄君はグルノーブル五輪の代表でした。切磋琢磨し彼も全国大会に出場し活躍されました。

三年の時、全道駅伝大会で陸上部とスキー部の混成チームで彼はアンカーで見事優勝のテープを切り大通公園での全校応援で祝福した思い出もあります。

その後、日本体育大学に進学され、教員として母校の北海高校に着任、すぐさまスキー部の監督となり38年の長きに渡り指導され、その間、五輪、ワールドカップ等に

活躍する選手を、多数育てられたのには敬服するものであります。

彼の行動を支えたのは北海校事務長であられた美佐江夫人であります。

退任後はゴルフ、旅行、呑み会と常に一緒に仲睦ましいお一人でした。

葬儀にはコロナ禍にもかかわらず250人程の旧友、教え子等多数に参列いただきました。お人柄が偲ばれます。

人、酒、煙草を愛し、スキーを愛した本藤司君、ご冥福をお祈り申し上げます。

校友会副会長・山田忠男(高校16期)

合掌

応援団OB会名誉会長

北海高校の弁論部に北海道高校弁論大会で優勝した時に訪れました、その時の顧問の新田修先生や部員の生徒さん方と話ができました。

今でも、新田先生や全国青年弁論大会で最高賞を受けた伊東智美さん(旧姓戸田)方とも交流をしていました。

今でも、新田先生や全国青年弁論大会で最高賞を受けた伊東智美さん(旧姓戸田)方とも交流をしていました。

ささやかな飲食でしたが、一時は18歳に戻り、一時は現実に戻り、話が弾んだ有意義な最後の同期会を終える事が出来ました。10月14日、幹事会を開催し、

1、本日をもって、北海高等学校第12期会を解散致しました。

しかし、わたしの力ではな

いと思います。

しかし、わたしの力ではな

い幹事の協力と同期生が結

束してくれた結果です。学生時代の友情がいつ迄も続きます。後輩が後に続いてほしい、これが北海の伝統です。

高校12期の方、残り僅かな人生ですが、参加希望の方

は、杉下迄一方ください。

耳を傾け、学校の様子を聞いて一同感動、学



# 校友の動向

## 北海で学んだ志し

高校46期卒業。  
レスリング部OB

近藤 正臣



校一年生の時には力不足で遠征。高校三年生では、インターハイ出場。学生最後の国体北海道予選で優勝し、東四国国体全国五位になりました。先輩並びに仲間達おかげで自分一人の力では無理でした。

進路は大学で

レスリングをするか、幼い頃から夢である鮨職人を目指すべきか将来の事で悩みましたが、高校卒業後は札幌市内の鮨店で修業。夢を選びました。

式会社近藤を設立。

飲食のプロデュース、海外への店舗事業、鮨職人の育成に力を入れたいと思っていま

す。

夢は必ず実現できる。

質実剛健、百折不撓、北海健児。今でも僕の大好きな大切な言葉。

## 厳しさから学んだ高校生活

高校58期卒業。  
卓球部OG

小田嶋 育未



中学の頃、卓球部の先輩が北海高校に多く進学していました。その先輩が上を目指

北海高校で学んだ志し

北海高校を卒業して三十近くになりますが、今でも眼を閉じると高校生活の思い出がつい最近のように浮かびます。

北海高校時代、体格のよかつた僕はレスリング部で推薦入学。三年間レスリング部で全国大会を目指し仲間と共に汗を流しました。

坂雄二先生には、厳しくも温かいご指導をして下さり、高

く引退迄に北海道代表として

国体に五度出場。結婚をきっ

かけに神奈川県藤沢市(湘

南)に移住。

キャラバンする心、失敗を恐れずに二〇一〇年「鮨近藤」

両立をさせて頂き、二八歳の引退迄に北海道代表として

全国大会を目標に仲間と

一緒に汗を流しました。

高校58期卒業。

卓球部OG

北海高校で学んだ志し

北海高校に多く進学してい

ました。その後、卓球部の先輩が上を目指

北海高校で学んだ志し

北海高校で





HOKKAI ism

&lt;令和4年度&gt;2022年11月30日



# 第101回 全国高校サッカー選手権 北海道大会

# 連覇 V2



写真提供／道新スポーツ2022年10月24日付

## 戦績

1回戦 北海 3 vs 0 滝川西

(プリンスリーグ6位)

2回戦 北海 3 vs 0 旭川大高

3回戦 北海 1 vs 1 旭川実業

(PK戦 4-3)

準決勝 北海 1 vs 0 道大谷室蘭

決勝 北海 2 vs 1 札幌光星



続でセーブ、北海を勝利に導いた。いわゆるOB達がそう呼ぶ「島谷マジック」が決まりたのだ。

決勝は札幌光星とのクラシコ(伝統の一戦)となった。試合開始1分松永選手の鋭いコーナーキックをニアで田中選手が頭で合わせ先制した。しかし前半20分PKを決められ振り出しに戻る。その後、両チームともに気持ちの入ったプレーで一歩も譲らず

一進一退が続く中、後半6分GK小野寺選手からのロングフィードで一瞬のスキを突き

幸先良いスタートを切った。

しかし前半20分PKを決め

幸先良いスタートを切った。

しかし前半20分PKを決め